

6月22日(土)

～『産土』ミニ上映会&森と人の暮らし講座～

猟歴40年ハンター有泉さんお話し会

◆映画『産土(うぶすな)』は、独自のテーマと切り口で、主に農山村の「限界」と呼ばれている集落の内側を取材したドキュメンタリー映画です。2012年、長岡監督と5人の外国人作家が全国6カ所の地域を共に旅して撮影した映像記録となっていて、山梨県早川町も取り上げられています。

◆お話し会の特別ゲスト有泉大さんは40年間の猟歴を持ち、その間、森に入り自然や獣たちと接し、変わりゆく姿を見つめてきました。

今回「森と人の暮らし講座～命の尊さを学ぶ～」と題し、実際に県内で狩られた動物各種の毛皮やツノ、脚など本物に触れていただきながら、お話しを聞かせていただきます。また、有泉さんが考案された、大塚ニンジン入り県内産鹿肉ウインナーの試食&販売もありますのでお楽しみに。

◆この映画とお話し会を通して農山村の「限界」と呼ばれている集落の現状を知っていただき、観た方がそこから何かを感じ、日本人としての心・そのありかたを考え、小さなことでもひとりひとりが何か行動をおこすきっかけになっていただければと思います、今回このような会を企画しました。ひとりでも多くの方に共感していただけたら幸いです。

『産土』概要

■監督 長岡参(ナガオカマイル)

■作品構成

第一部「森と限界」

第二部「あたりまえの生活」

第三部「山伏と神の島」

■制作

長岡活動写真

トノループ・ネットワークス



お話し会「森と人の暮らし講座～命の尊さを学ぶ～」

- ① 今と昔
- ② 自然を大切にしよう
- ③ 身近にいる野生獣の生態 (毛皮に触れて学ぶ)
- ④ 日本鹿の角について
- ⑤ 命を大切にする
・野生動物の命に感謝、共存することの大切さ
- ⑥ その他



※有泉さん考案の鹿肉ソーセージの試食・販売もお楽しみください。

有泉大(ありいずみ おおい)氏 プロフィール

- ・JPN野生鳥獣研究所 代表
- ・環境省登録：鳥獣保護管理捕獲コーディネーター
- ・農林水産省登録：農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー
- ・山梨県鳥獣被害対策専門員
- ・執筆書籍
「すぐ捕れる“コツ” 猟歴40年の技」
- ・獣肉と大長人参のソーセージの製造方法の特許取得 など

◎日時：6月22日(土) 13時30分～

◎場所：「くらんく」南アルプス市荊沢 330-1 和田電気商会内

◎参加費：中学生以上 1,000円 小学生無料

◎定員 25名 (事前にお申し込みください)

☆参加申し込み、その他詳細については、facebook イベントページ「産土ミニ上映会&森と人の暮らし講座」を検索してください。

◎問い合わせ先 090-4022-4812 大森まで

◎タイムスケジュール

◆13時30分～ 「産土(うぶすな)」上映開始
(入場は開始時刻前までをお願いします。)

◆15時40分～ 有泉さんお話し会

◆16時30分頃～ シェア会

◎夜の部(映画上映のみ)

◆20時00分～ 「産土(うぶすな)」上映開始
22時頃終了予定